

FVC REPORT 2024年秋号



FUTURE VENTURE CAPITAL

01 FVC news

第26回定時株主総会開催のご報告

第 26 回定時株主総会開催のご報告

2024年6月20日、第26回定時株主総会を二条城内（香雲亭）で開催いたしましたのでご報告いたします。

また、定時株主総会の終了後は、弊社代表 澤田と株主の皆様で二条城ツアー及び懇親会を行いました。



写真提供：元離宮二条城事務所

懇親会ではFVCが運営する地方創生ファンドの投資先の商品も用意し、参加者の皆様に飲食いただくことにより、FVCへの事業理解を深めていただくこともできました。

投資先商品



おおさか社会課題解決2号ファンド

(株) ロスゼロ

商品名：さんかくりゅう



トマト創業支援ファンド

果樂 (株)

商品名：岡山県産 清水白桃ドリンク

02 ファンド関連 news

Tohokuライフサイエンス・インパクトファンド
設立のご報告

Tohoku ライフサイエンス・インパクトファンド 設立のご報告



Tohoku ライフサイエンス・インパクトファンドの概要

| | |
|--------|--|
| 正式名称 | Tohoku ライフサイエンス・インパクト投資事業有限責任組合 |
| ファンド総額 | 425 百万円 |
| 運用期間 | 2024 年 5 月 15 日～2034 年 12 月 31 日 |
| 組合員構成 | 無限責任組合員 FVC Tohoku 株式会社 |
| | 有限責任組合員 盛岡市、株式会社岩手銀行、株式会社日本北銀行、 株式会社東北銀行、株式会社カガヤ建設 |

Tohoku ライフサイエンス・インパクトファンド設立の背景

本ファンドは、東北地域から世界へ発信するライフサイエンス機器を生み出すために設立された民間団体 TOLIC を主体とし、同団体をメインの連携機関に迎え、東北地域のライフサイエンス企業への投資を通じて、東北での研究開発及びものづくり産業の集積を目指し、設立されました。TOLIC は、FVCTohoku の元投資先の代表が中心となって設立したものであり、東北地域の今後の 10 年を見据え今回のファンドの設立を構想し、地方創生に取り組む FVCTohoku とこの取り組みに賛同した盛岡市、岩手県の複数金融機関や企業が出資いたしました。

東北地域での FVCTohoku のこれまでの地方創生及びスタートアップ育成の活動が、新たな取り組みを生み、このファンド設立へと繋がっています。

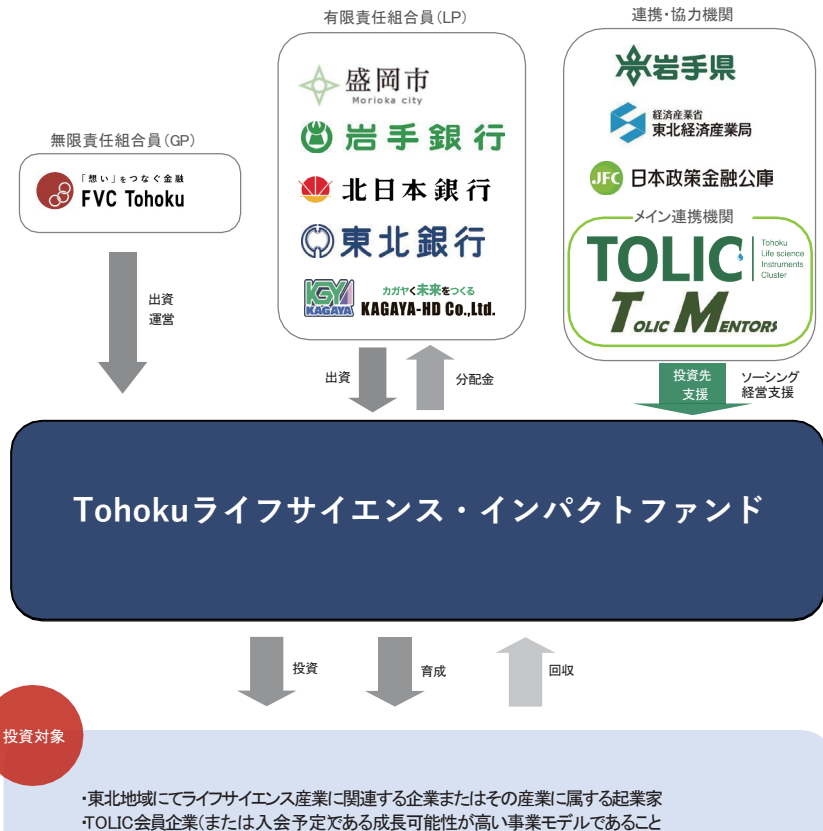
民間団体 TOLIC について

東北地域から世界へ発信するライフサイエンス機器を生み出すことを目指し、2014 年に設立された民間団体です。

企業会員数 39 社、関係機関に大学や研究機関など 85 機関が所属しています。(2024 年 5 月現在) TOLIC は、今年で設立 10 周年を迎えることから、よりスタートアップの支援を強化するべく 3 本の柱となる戦略(①ファンド設立・②メンター会社の設立・③スタートアップ支援施設の立ち上げ)を掲げ、その中核となるファンド設立を今回 FVCTohoku と連携し、設立しました。

また、柱の一つであるメンター会社も 2024 年 5 月に設立しています。
新たに設立された株式会社 T-Mentors は、本ファンドの投資候補先の発掘、投資先の経営支援を連携して行います。

ファンドスキーム図



TOLIC 片野代表理事コメント

東北のヘルステック産業集積拠点をを目指す取り組み TOLIC は「地域からベンチャー企業をどんどん生み出す！」ことを目標のひとつとして取り組んでおります。今年設立 10 年を迎え、その通りヘルステック・スタートアップ企業が加速的に立ち上がっておりますが、これらの企業が着実に成長するためには、「人財」と「資金」の課題を解決することが重要となっております。そこでこの度、ファンド設立と連動して経営人財を共有化する「(株)T-Mentors」を設立して、これらの企業を応援することとしました。TOLIC は地方の明るい未来をつくるために、大企業に依存せず、自分たちの技術に誇りを持ち、若者たちが自立して生き生きと活躍する場をつくることを目指して参ります。

FVCTohoku コメント

本ファンドは盛岡を中心に活動しております TOLIC がきっかけ、母体となっております。代表幹事である片野社長とは FVC が 20 年以上前に運営しておりました「いわてインキュベーションファンド」投資先企業の社長でありました。以来、片野社長とは TOLIC を通じてベンチャー、スタートアップ成長支援の在り方について議論を行ってきました。ファンドはその背景、議論の内容を踏まえた形で構想されました。タイミング的に今年は TOLIC 設立 10 周年にあたり、次の 10 年であるセカンドステージに入る段階でファンドを立ち上げることができました。ファンド投資先企業の創業者が次世代ベンチャー創出に携わり、ファンドを活用するという点については大変意義深いものがあり、創業者による地域のためのベンチャー創出というモデルは大変画期的な事例になると思います。引き続き関係各位のご支援、ご協力の程お願いいたします。

FVCTohoku 代表取締役社長 小川 淳

03 投資先紹介

- ① 株式会社バイオーム
- ② 株式会社シェアダイナ
- ③ SSQQB株式会社
- ④ KEYes株式会社

①株式会社バイオーム

会社概要

| | |
|------|-----------------------------|
| 会社名 | 株式会社バイオーム |
| 設立 | 2017年5月 |
| 代表者 | 藤木 庄五郎 |
| 資本金 | 411,660千円 |
| 所在地 | 京都市下京区中堂寺南町 134 番地 ASTEM ビル |
| 事業内容 | 生物情報プラットフォーム、生物アプリ開発運営 |

出資ファンド

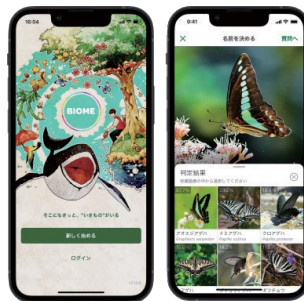
京都市スタートアップ支援（2019年2月出資）
京都市スタートアップ支援2号（2023年3月出資）

FVC 担当者コメント

藤木代表は、京都大学大学院農学科に在学中、東南アジアのボルネオ島で2年以上キャンプ生活をしながら、衛星画像解析を用いた生物多様性の可視化技術を開発し、世界の環境保全を事業化する事を決意し起業に至った、高い志と強い実行力を持つ起業家です。京都市スタートアップ支援ファンドでは、京都発で世界の環境課題を解決に導くベンチャーが生まれて欲しいという想いで設立1年目にあたる2019年2月に新規投資を行いました。以降いきものコレクションアプリ「Biome」が4月にリリースされ、着実にユーザー数、生物分布データが増加、事業モデルの確立も進む中、2021年6月にはTNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）が設立され、同社事業は社会から要請される事業に進化してきており、更に加速化させるための資金として、2023年3月に京都市スタートアップ支援ファンドの後継ファンドにあたる京都市スタートアップ支援2号ファンドにて再度投資を行いました。FVCとしては、同社の事業拡大が世界の環境問題の解決に繋がる事に強い期待をし、一杯応援してまいります。連携している全国の関係機関の皆様にも、この機会に同社の取り組みについて知って頂ければ嬉しく思います。

事業概要

生物アプリの開発・提供



いきものコレクションアプリ



国内ほぼ全種に対応した図鑑・いきもの名前判定AIを搭載。クエスト、マップ、マイコレクションなどいきものを楽しみつくすアプリ。
現在 95 万人の利用者により、700 万件以上のリアルタイム生物データが収集されています。

誰でも生物調査ができる



国内最大級の生物データベースに裏打ちされた生物判定AIや、生物調査に特化したユーザーインターフェースを備えた専用アプリにより、誰でも簡単にデータを収集し、本格的・組織的な生物調査を内製化できるサービス。

生物多様性の可視化サービス

BiomeViewer



バイオームデータを解析して作成した
角網の多様性マップ

生物多様性情報の収集・解析・可視化技術を活かし、すべての自然資本ステークホルダーの世界目標達成に向けた実用的な TNFD 対応支援サービス。

情報公開支援サービス

TNFD対応支援パッケージ



事業拠点と自然資本との関わりを
TNFDに対応したフローでデータ分析・可視化できるサービス。

直近のバイオームの取り組み紹介

産官学民で生物多様性保全の取り組みを推進中

バイオームは、生物の分布推定をはじめとした高度なデータ解析・応用技術を用いて、TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)対応支援、OECM/自然共生サイト認定支援、市民参加型調査の企画運営、外来種防除支援等、ネイチャーポジティブエコノミーを支える先進的サービスをリリースし続け、60以上の地方自治体・官公庁、170以上の企業と取り組みを進めています。今後は海外も含めて更に事業を拡大させる予定です。

自治体・官公庁

60

企業・団体

171



取り組み事例 (抜粋)

外来種防除：兵庫県神戸市

▶ 六甲アイランド中心に広がる外来カミキリシロツヤハダゴダラカミキリ]のデータをBiomeで収集、防除に繋げた



外来魚の全国調査：国立環境研究所

▶ 全国を対象に外来魚のアマガマス(チャネルキャットフィッシュ)の市民参加型分布調査を実施
▶ 報告例の少ない水系からの投稿を収集できた
▶ 収集データは、アマガマスの分布把握や効果的な管理手法の検討・開発に活用



希少種保全：愛媛県

▶ 愛媛県内でBiomeに希少種を投稿すると、希少種保全を促すバナーを表示する機能を実装し、意図しない盗掘や生態系破壊を防ぐために活用
▶ 県民標準アプリを目指して広報イベントやクエストも展開



インベントリ作成：東京都

▶ 東京都内の野生生物目録を作成するプロジェクト
▶ 都とバイオーム社が連携協定を締結し、長期にわたって市民・専門家が一体となった調査を実施していく



バイオーム 藤木代表コメント

弊社は生物多様性の保全をビジネスとして成立させることに挑戦しています。リアルタイムの生物多様性データをスマートフォン経由で収集する独自のアプローチで、これまで難しかった生物多様性評価システムを構築してきました。いきものコレクションアプリ「Biome」では、コア技術である名前判定AIにより国内ほぼ全ての生物を高精度に判定し、生物の名前をその場で特定する事、収集したデータを高度な解析によって、顧客ニーズに合わせた形で提供する事を可能にしています。加えて、生物の分布推定をはじめとした高度なデータ解析・応用技術を用いて、自然再興の実現を目指す各種先進的なサービスをリリースし続けています。

関心をお持ち頂ける企業様及び自治体様がいらっしゃれば、先ずはお気軽にお問い合わせ頂けると幸いです。

②株式会社シェアサイン

会社概要

| | |
|------|-------------------------------|
| 会社名 | 株式会社シェアサイン |
| 設立 | 2017年5月 |
| 代表者 | 飯田 陽狩・井出 有希 |
| 資本金 | 1億円 |
| 所在地 | 東京都港区虎ノ門 4-1-1 神谷町トラストタワー 23F |
| 事業内容 | 「シェアサイン」及び「スポットシェフ」の運営・管理 |

出資ファンド

かんしん未来2号（2020年4月出資）
かんしん事業承継&未来創造（2023年12月出資）

FVC 担当者コメント

同社は第一勧業信用組合様とのファンドにてシード期から継続支援させていただいてる期待のスタートアップ企業です。飯田代表・井出代表の原体験をベースに丁寧にサービス開発、ビジネスモデル構築をなされてきた点は素晴らしく、創業から取り組む日本最大級の家庭向け出張シェフサービス「シェアサイン」の他、第二の柱として今後の成長を担う法人向け即戦力シェフの出張サービス「スポットシェフ」の提供を通じて見事にコロナ禍も乗り越えスケール期に移行した企業です。

新サービス「スポットシェフ」は、これまで「シェアサイン」を通じて登録シェフを着実に積み上げてきたからこそ出来るサービスと言えます、アフターコロナ、インバウンド回復の文脈で消費が急回復したものの「人手不足」に悩む飲食・宿泊事業者にとって非常にフィットするサービスと言えます。同社の今後のさらなる成長を期待しています！

事業概要

出張料理マッチングプラットフォーム

「シェアサイン」  SHARE DINE



栄養士・調理師などの資格を持った食の専門家8,000人以上が登録する日本最大級のシェフプラットフォーム。

飲食事業者向けシェフマッチング

「スポットシェフ」  SPOT CHEF



必要な時だけ
即戦力シェフに
お任せ依頼

フリーランスシェフが、2019年売上1億5000万円
集客額1000人、1000名以上の顧客を獲得

2023年7月にリリースされた飲食事業者向けの必要なときだけスポットで、即戦力の出張シェフの手配が可能なサービス。

最新トピック

国内飲食事業者の海外進出支援サービス「Chefjob.jp」を開始

国内飲食事業者における海外拠点の新規出店、及び拡大時に必要となる調理に特化した人材の採用支援を行う「Chefjob.jp」を開始しました。



経済産業省「家事支援サービス福利厚生導入実証事業」に採択

複数の企業が福利厚生として利用を決定

シェアサインの出張シェフサービスが経済産業省の「家事支援サービス福利厚生導入実証事業」に採択され、アディッシュ（株）、（株）すむたす、（株）ゼロボード、（株）hacomo、（株）ポーラ、（株）リセなど複数の企業が福利厚生プログラムとして導入しました。



シェアサイン 飯田代表コメント

創業直後にご出資いただき、直近では「スポットシェフ」の営業支援でお力添えをいただいております、有難うございます。私たちは「シェアサイン」「スポットシェフ」双方を通じて飲食業界の構造を変え、一人ひとりの料理人が自由にその才能を発揮し、自分らしいキャリアを築ける未来を作ることにチャレンジします。スポットシェフは地方創生でも活用いただけるサービスだと考えており、地方創生の面からも引き続きご支援をお願いできれば嬉しく思います。

③SSQQB株式会社

会社概要

| | |
|------|---------------------------------|
| 会社名 | SSQQB株式会社 |
| 設立 | 2009年3月 |
| 代表者 | 張 永強 |
| 資本金 | 約3,000万円 |
| 所在地 | 大阪府大阪市西区西本町1-12-19 清友ビル 4F |
| 事業内容 | 「wBuyBuy.com」 「wModel.AI」 開発・運営 |

出資ファンド

だいしん創業（2017年3月出資）

FVC 担当者コメント

1. 革新的なグローバル EC プラットフォーム

SSQQB 社の主力サービス「wBuyBuy.com」は、越境 EC と SNS を一体化させた画期的なプラットフォームです。92 カ国語対応、12 種類の通貨、50 種類の決済方法に対応しており、言語や決済の壁を取り除いています。これにより、誰でも簡単に世界中で売買ができる環境を提供しています。

2. 成長市場への参入

グローバル化が進む中、越境 EC の需要は増加傾向にあります。wBuyBuy.com は、この成長市場に早期に参入し、独自のポジションを確立しています。

3. 経営者の信念

中国からの留学生であった CEO 張永強氏は、高度な IT 技術や国際交流の豊富な経験を持っています。グローバルなビジネス展開に必要なスキルと視野を備えた経営者です。

事業概要

グローバル EC プラットフォーム「wBuyBuy.com」



～誰でも簡単に世界に売れる・買える～

越境 EC と SNS を一体化し各国で売買ができるサービス。
無料出店・無料出品ですぐに海外販売を始めることができ、92 カ国の言語対応に対応しています。

導入企業例

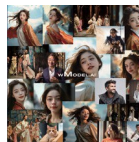
株式会社 ECC



株式会社アカカベ



AI モデルサービス「wModel.AI」



2024年1月リリースの新サービス次ページで詳細紹介

自社リュックブランド「W STORE」



自社ブランド「W STORE」にて地球製リュックを展開



SSQQB 張代表コメント

弊社は、越境 EC プラットフォーム「wBuyBuy.com」や、AI モデルで商品画像を生成するサービス「wModel.AI」などの自社サービスを開発・運営しております。wBuyBuy は、無料出品・無料出店により、誰でも簡単に海外販売を始めることができます。これまでオンラインに留まらず、出店企業さまと共に中国での海外展示会に共同出展するなどオフラインでの活動も積極的に行ってまいりました。今後も地方に眠る良質な商材を世界に売り込むことで、微力ながら地方創生に貢献していければと思っております。また、wModel.AI は、地方や中小企業の商品であっても、トップブランドに匹敵する高いクオリティと表現力を持つ画像を生成することが可能です。wModel.AI で作成した高品質な画像を活用し、wBuyBuy を通じて海外市場に向けて販路を広げることで、皆様のビジネスをさらに発展させるお手伝いができれば幸いです。

SSQQB 新サービス紹介 AI モデルサービス「wModel.AI」

2024年1月リリース以来好評、大手広告代理店との連携も決定

「一枚の商品画像から、AIモデルが商品を着想着用したモデル画像を生成する」

AI モデルで商品モデル画像、商品宣伝モデル画像を生成し、アパレル・アクセサリー・化粧品などの日用品・食品・インテリア・電化製品まであらゆる商品に対応するAI モデルサービス。商品画像があれば、生成した AI モデルに合成し、あらゆるシーンでのイメージ画像生成が可能となります。

大手広告代理店との連携も決定し、今後サービス拡大予定です。

生成イメージ

商品画像



AI モデル商品着用画像



特長



経費削減

AI 技術によるモデル生成は従来のモデル登用による撮影プロセスに比べ、大幅にコスト削減が見込めます。



時間短縮

従来のモデル撮影にかかっていた撮影時間や移動時間も大幅な削減が見込めます。また、商品マーケティングにおいても AI モデルにより迅速かつ柔軟に市場の反応を評価可能。



自由自在な表現

AI 技術によって、今までにないロケーション背景や表現が可能となり、際限なく多種多様なイメージ画像の生成が可能となります。

FVC 担当者コメント

AI モデルサービスの開始について

コロナウイルス感染拡大の影響により国際的な物流が止まってしまい、wBuyBuy 事業も少なくないダメージを受けました。この経験から、物流に頼らないサービスの開発が必要と考え、AIモデルサービスの開発に着手しました。EC 販売業者がモデルを使って撮影をしなくても、商品の写真がひとつあれば、トップブランドと変わらない画像を無限に作り出すことが可能です。AIモデルサービス事業における当社の優位性は、競合の多くが作る AI 画像は AI っぽさが残っていますが、当社が生成した AI 画像は限りなく実在する写真に見える点です。

④KEYes株式会社

会社概要

| | |
|------|------------------------------|
| 会社名 | KEYes株式会社 |
| 設立 | 2018年12月 |
| 代表者 | 野寄 朋彦 |
| 資本金 | 51 百万円 |
| 所在地 | 福岡県福岡市中央区赤坂 1-10-26 重松第 5 ビル |
| 事業内容 | スマート南京錠システムの開発・製造・販売 |

出資ファンド

あなぶきスタートアップ支援（2020年12月出資）

FVC 担当者コメント

南京錠は様々なところで使われています。水道関連施設、公園、変電所、発電所、保安通信設備、送電鉄塔、商業ビル、集合住宅、工場などインフラ、公共施設だけでも数千万個以上あると言われてます。しかしながら南京錠は、鍵の紛失、受け渡しにかかる時間、貸出、返却の管理、鍵管理マニュアルの更新、鍵のコピー、進入禁止時間帯での侵入などペインが数多く存在します。同社の製品は、南京錠をスマホを使って解錠するというシンプルなもの。そして、いつ、どれを、誰が、どこで、開閉したという管理情報を一括で簡単に履歴管理ができます。またBluetoothで通信をするためwifi環境も必要ありません。スマートロックなど類似製品は多数あるものの、屋外で使えるものは同社のみとなります。製品ラインナップも南京錠、ワイヤーロック、キーボックスと用途に合わせて揃えています。元旦の能登半島地震では自治体が管理する避難施設や災害倉庫に職員が駆けつけられず、大きな混乱があったという報道も多くありました。同社製品が広がることで日常生活では見えにくいペインを広く解決してくれるものと考えており、これらペインの解決による今後の成長を期待しています。

先行試験テストのご協力自治体を募集しておりますので、公民館、運動場、避難施設、災害倉庫の鍵管理などで課題があれば是非ご連絡ください！

キーズロックサービス



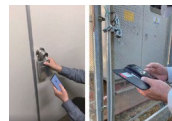
「いつ」「どの南京錠を」「誰が」「どこで」を把握できる
鍵管理システム

どう変えるかが、鍵



導入事例（一部）

▶ 事業会社



九州電力（株）
発電所・中継所・会議室などで導入



東日本旅客鉄道（株）
ハット（資材置き場）で導入開始



九州旅客鉄道（株）
鉄道変電所・無人駅など 600 拠点で導入

▶ 自治体



豊船町（大阪府）
公園貸出時の禮品倉庫での利用



八戸町（鳥取県）
公民館の解錠を遠隔での利用



糟屋郡（福岡県）
市営グラウンドなどの利用

▶ 自治体向け新サービスの開発～災害倉庫の遠隔開放サービス～



自治体（大規模集合住宅）から、
■ 防災倉庫の緊急時の遠隔解錠
■ 公民館の解錠を遠隔できないかの問い合わせが多数あり、開発中。

▶ SIM 付き南京錠を開発し、来年秋リリースの予定。

KEYes 野寄代表コメント

「鍵の管理を人の力ではなくクラウドでオートに…」

KEYes のサービスは鍵にまつわる全ての問題を解決します。

鍵の貸し借り受け渡しに関する人・時間のコスト、鍵のコピーを取られるリスク…

九州電力、JR 九州、日本製鉄、鹿島建設、積水化学工業など導入業界、企業が順調に伸びております。



「想い」をつなぐ金融

FUTURE VENTURE CAPITAL